

豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生へのヒアリングの概要

1. 目的

豊中市子ども健やか育み条例第12条（子どもの社会参加の促進）に基づき実施。

第2期豊中市子育ち・子育て支援行動計画「こどもすこやか育みプラン・とよなか」の進行管理の一環として実施し、市が実施する施策について表明された子どもの意見を施策に反映するよう努め、子どもの社会参加の促進を図る。

2. 実施期間

令和6年(2024年)1月26日から令和6年(2024年)3月1日まで

3. 実施方法

学校を訪問し、こども政策課職員が事業実施状況の概要を説明し、同課のほかこども支援課・都市計画課・くらし支援課職員がヒアリングを実施。

4. 訪問校及び参加人数

訪問校		参加人数
小学校放課後 こどもクラブ	泉丘小学校	26
	庄内西小学校	11
中学校	第五中学校	5
	第十二中学校	5
	第十四中学校	6
高校	桜塚高等学校	6
	千里青雲高等学校	12
	豊中高等学校	3
合計		74

5. 主な意見

●中学生・高校生むけのアンケート

質問 1. 【重点施策 1】 ひろめよう、それぞれの居場所～子どもの居場所づくり～

(1) 豊中市が取組みを進めている子どもの居場所は、大人や大学生などの見守る存在がいる居場所を想定しています。家族や学校の先生以外と関わる機会が少なくなっているなか、様々な大人と関わることで、多くの価値観に触れたり、新たな体験のきっかけになったり、家や学校以外の安心・安全な場を得たりすることができます。

家族や学校の先生以外で、あいさつや会話をしたり、相談をしたりするなど、関わりがある大人の人はいいますか。

【中学生】

(関わりがある大人・年上の人)

- ・塾の先生、習いごとの先生
- ・近所の人、隣に住んでいる人
- ・部活の OB や高校生

(どのような話をするか、関係があるか)

- ・あいさつをする。
- ・学校や部活の話をする
- ・進路について相談する

(どのような関係性の大人や年上の人が身近にいてほしいか)

- ・同級生と話すような感覚で相談できる人
- ・全く知らない人のほうが相談しやすい。自分をよく知らないからこそ、相談内容の答えだけもらえそう

【高校生】

(関わりがある大人・年上の人)

- ・塾の先生、習いごとの先生
- ・近所の人、同じマンションに住んでいる人
- ・友人の親
- ・
- ・中学生の時に通っていた塾の先生で現役大学生

(どのような話をするか、関係があるか)

- ・高校生になり、登下校の時は会わなくなったけど、バスや街なかでばったり会うことがあり、近況報告する
- ・今でも進路のことに相談にのってもらう。用事がなくても会いに行ったり、他にも元塾生が集まり、おかしを食べながら話をしたりする
- ・ネットの口コミ情報だけでは得られない大学生活のリアルな情報を聞く
- ・こども会連合会に所属しており、成人した先輩など昔から繋がりのある大人など、相談できる人がいる。また、自分も後輩の子供達の相談相手になることもある

- ・地元の自治会の付き合いがしっかり保てており、友人の親だけでなく、地域の大人たちと関わりを持っている。季節ごとの催し（もちつきなど）があり、地元のなかでの付き合いを持っており、見守られている実感がある
 - ・習い事を10年以上続けており、習い事先輩（20代後半）の人に相談やたわいもない話をよくしている。自分の困っていることも相談しやすい
 - ・塾の先生とは関わりがあるが、身近な相談はあまりしない。進路の相談にはのってもらっている
 - ・母親の友人や、きょうだいの母親など。弟のママ友からは、進路の情報収集として高校のことなどを聞かれることがある
- （どのような関係性の大人や年上の人が身近にいてほしいか）
- ・大学生生活のリアルな情報を知りたいので、大学生年代の人の話を聞きたい
- （居場所について）
- ・小学校高学年以降（学童の対象から外れた後の学年）で、友達同士で行きやすい場所
 - ・中高生向けの、ヤングケアラー等のための居場所(学習支援や学校内)

(2) 学校以外でのどのような体験活動に興味がありますか？

また、どのような体験活動であれば参加してみたいと思いますか？

【中学生】

- ・専門の人が教えてくれるスポーツイベント
- ・農業体験をしてみたい。
- ・小物づくりが好きなのでやりたい
- ・同世代（別の中学など）と一緒にできる体験がいい

【高校生】

- ・実践系の活動
- ・子どもに関わる（触れ合える）機会、ボランティア活動
- ・学校や部活帰りに立ち寄れるイベント
- ・料理やお菓子作り教室
- ・まちあるきなど、その地域の魅力を知る体験活動や、普段知り合う機会が無い、他校の（同世代生徒と知り合う機会を伴ったイベント
- ・小中学生や大学生など、色々な世代の人たちと交流するようなイベント

(3) 普段はどのように自分にとって気になる情報(イベントや体験活動など)を知りますか？

また、どのような方法であれば、より皆さんに情報が届きやすくなると思いますか？

【中学生】

- ・テレビ(ほぼ見ないという意見もあり)
- ・もっと魅力的なコンテンツを発信してくれたら見る人はいると思う。
- ・親から情報を知る
- ・掲示板の貼り紙

【高校生】

- ・インターネット
- ・ポスター
- ・自治会の回覧板
- ・読み込みが面倒なので、QRコードはほとんど見ない

【共通】

- ・SNS(LINE・インスタグラム)
- ・Youtube(ショート動画)
- ・友人から
- ・学校から(配布されるプリント、掲示板)

質問2【重点施策2】 みんなで寄り添う、健やかな育ち～人ひとりの育ちにあわせた相談支援～

(1) 困ったときや悩んだときに、だれに（どこに）どんなふうに相談したいですか。

悩みの深刻度やカテゴリー（友人関係、勉強のこと、家族のことなど）別に想像してみてください。

【中学生】

- ・深刻なものは「親しくは無いがちょっと知っている人」ぐらいの距離間の人。全く自分を知らない人だと「何もわかってないくせに」と思ってしまう
- ・顔を知られないので、市役所の相談窓口（LINE）でもいい。電話よりはLINEがしやすい
- ・親友ならすべてを話せるが、それでも1割くらいは話せない

【高校生】

- ・深刻な相談は身近な人には話さない。話すとしたら自分を直接知らない人（相談窓口など）の方が気が楽
- ・深刻な相談は誰にも話さず、自分の中で消化する、自分の中でケリをつけるようにしている
- ・悩んでいる人は自分から相談しにくい、発信しづらいと思うため、周りの人間が気づいてあげられるかが大切だと思う
- ・YCなど当事者からすると、どうやって相談したらいいのか糸口がつかめないような気がする

【共通】

- ・親(進路、家族関係)
- ・先生(勉強関係)
- ・友人(深刻ではないもの、家のこと、親に話しづらいこと)

(2) こども自身が相談できる窓口として、「とよなかつ子ダイヤル」「とよなかつ子ライン」があります。

「とよなかつ子ダイヤル」は24時間365日フリーダイヤルで相談を受け付けており、「とよなかつ子ライン」は毎週水曜日17:00～21:00ラインアプリや市立学校配布タブレットからも相談できますが知っていますか。

また、より相談しやすくなるような工夫やツールがあれば教えてください。

【中学生】

- ・学校配布タブレットにLINE相談が入っていることを知らなかった

- ・メールやLINEなど文章の方が相談しやすい
- ・年が大きく離れていない同じ立場の人になら相談しやすい
- ・スクールカウンセラーが来ていることは知っているが、どの教室にいつ来ているのかは知らない。相談することのハードルが高く感じるため、雑談などで身近な存在になってもらった方が相談しやすい

【高校生】

- ・自分のスマホで勝手にLINE追加や知らない人に連絡したら、親に怒られるので相談しにくい
- ・スマホが無い子、電話が苦手な子もいるので、電話やLINE以外の手段も必要
- ・学校を通じたアンケートを定期的にとって相談を聞く
- ・電話ではしゃべりにくい環境の人もいると思うので、ラインが相談しやすい
- ・日頃から接点のある信頼関係がある人へ相談したいと思うので、電話はハードルが高いが、最後のセーフティーネットとしてはいいかも

【共通】

- ・LINE相談は塾や部活など固定の用事がある人はできない(休日の開設や夜の時間、開設日数を増やす)

質問3 【重点施策3】だれもが安心、つながる支援～必要な支援を届ける環境づくり～

(1) 豊中市では、ヤングケアラーについて啓発するためのリーフレットの作成を予定しています。

どのような内容や表現、配布方法であれば中学生・高校生にも読んでもらいやすいと思いますか。

【共通】

- ・冊子は文字が多く内容のボリュームが大きい。中高生には一目で見れる見開き1枚程度、シンプルなものがよい
- ・マンガを入れる、イラストを増やすなど。とっつきやすいようハードルを下げてもみんなに知ってもらうことが大切
- ・ヤングケアラーのことを具体的に初めて知った。知らずに苦しんでいる子がいるかもしれないのでもっと中学生にも啓発して欲しい。

質問4 子育て支援

(1) 令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っていますか？そのことについて、よいと感じること、不安に感じることはありますか？

【中学生】

- ・今のところ気にしたことはない
- ・ネットショッピングやアプリ課金なども行わないため関係ないことのように感じる。
- ・お金のトラブルが起こるかもということも認識はしているが、通販や課金も行わないので関係ないことだと思っている

【高校生】

- ・クレジットカードを作りたいが、使いすぎてしまいそう(詐欺にあう不安感も)
- ・若者の意見が政治に反映されやすくなることは良いことだと思う

- ・保護者の同意なしに何でもできる分、責任も生じるため、自分でやっていけるか不安のほうが大きい。
- ・これまでは社会人や大学生になって、ある程度社会を知ってから成人していたが、高校生のうちに成人するため、「成人になるとなにごち変わる」といったことを考える機会がない

(2) ライフデザインとは、「自分の人生の構想を描くこと」です。みなさん一人ひとりの人生には、様々な選択肢があつて、みなさん自身が人生を主体的に決めていくことができます。自分の将来ややりたいことについてもう決まっていますが、まだ探している途中でも、どれも間違いではありません。また、やりたいことが年齢や経験を重ねることで変化していくこともあります。自分の将来について、今考えていることやイメージしていることはありますか。

【中学生】

- ・のんびり暮らしたい
- ・自分のおばあちゃんのように周りに慕われる人になりたい
- ・結婚や子どもについては考えていない
- ・とよなかに住み続けたい

【高校生】

- ・将来就きたい職業はあるが、就職してみて合わなかった時にどうしたらよいか、不安な気持ちがある
- ・就職まではイメージしているが、結婚、出産、仕事と育児の両立などは具体的にイメージできない
- ・様々な生き方のイメージがしにくいので、人生の先輩の体験談などが聞けたり、直接相談できたりする場があれば良いと思う
- ・自分一人で決められること（就職など）はイメージできるが、ライフデザインに他の人が入ってくるとなると（結婚など）相手のこともあるため、急にライフデザインを考えにくくなる。

質問5 安心・安全なまちづくり

(1) 交通ルールや自転車マナーについて、どのような取組みがあれば学びやすいですか。

【中学生】

- ・印象に残るポスター掲示（あまり色々なことを詰め込まない、ワンフレーズで目立つような）
- ・動画は時間が長くなると眠くなるので、体験の方がよい
- ・ヘルメット着用について、周りの人もつけていないからかぶらない

【高校生】

- ・実践を取り入れた講座が良いと思うが、高校は様々な地域から通学しているため、小学校区、中学校区単位で、学校の校庭などを利用して実施するのが効果的かと思う
- ・オンライン講座などを申し込むことはハードルになるため、学校の中で取り入れるのが良いと思う。

- ・ヘルメット着用が努力義務となったが、ヘルメットが家がないから買わないといけない点と、髪型が気になる点で、高校生はヘルメットを着用しないと思う。ヘルメットのデザインもイマイチと感じている。

質問6 全般について

(1) 豊中市はくらしやすいまちだと思いますか。また、どんなまちであってほしいと思いますか。

【中学生】

- ・治安や雰囲気もいいので過ごしやすいと思う。周りの人もいい人が多いと思う
- ・緑地公園に遊びに行くことがあるが、のんびりできるいい場所だと思う
- ・登下校の道が暗くて怖いので、明るく通りやすい道にしてほしい
- ・遊具の老朽化やボールの使用禁止などが不便なので、公園を増やしてほしい

【高校生】

- ・豊中市生まれ豊中市育ちなので、愛着がある。将来豊中市以外の場所に住んでも、地元に戻ってきたらほっとする場所であってほしい
- ・「救命力世界一宣言」や「飛行機、高速、電車などの交通の便が良い」などの豊中市の良いところを今後も大切にしていってほしい
- ・コロナ前は地区運動会や夏祭りなど、地域のイベントが多数あり、小さい頃から毎年参加してきたし、楽しみにしていた。コロナになってから、様々な地域のイベントが中止になり、地域のつながりが希薄になったように感じる

(2) 大人の人や豊中市に伝えたいことがあれば、教えてください。

【中学生】

- ・遊び場が欲しい
- ・図書館もあるが、小さい子もおり集中できないので、ショコラのような自習室が別のフロアに設置されているような居場所がほしい
- ・外国語や手話など教えてもらえる場所

【高校生】

- ・豊中市の良いところをもっとアピールしてほしい。
- ・市では情報発信の仕方を課題に感じているように思ったが、生徒会で協力できることがあれば協力していきたい。

(3) 子ども施策全般について、今日の説明やヒアリングを受けての感想も含めて教えてください。

【中学生】

- ・もっと豊中のことを知りたいと思った。
- ・市について知ることができるよい機会だった。
- ・自分で考えて、話を聞いてもらえる機会は貴重で、よかったです。

【高校生】

- ・このヒアリングで市の取組について今まで知らないことを知ることができた。もっと他の取組みもあるのかもしれないと思ったため、調べてみようと思った。
- ・地域の活動にも参加し、地域との関わりがあるほうかと思っていたが、ヤングケアラー等の話に意識が向いていなかったことに気づかされた。自分たちの身近なことしか目に見えていなかったため、これからは、見えない部分に対してどう目を向けていったらいいのかを考えていきたい
- ・豊中市の取組みを子どもに伝えようとして大人が取り組んでいる気持ちを知れてよかった
- ・2回目のヒアリングだったが、私たち高校生が思っていることと大人が思っていることが異なるため、もっとお互いに意見を交わせる場があれば良いと思った。こういったヒアリングの場を大切にしていきたい

●小学生むけのアンケート

質問1 うれしいことや悲しいことがあった時など、自分の気持ちを素直にお話できる大人はいますか。

(複数回答可)

- | | |
|----------------|-----|
| ・おうちの人 | 31人 |
| ・担任の先生 | 22人 |
| ・おじいちゃん・おばあちゃん | 18人 |
| ・放課後こどもクラブの先生 | 15人 |
| ・ならいごとの先生 | 6人 |
| ・その他 | 3人 |

(友だち、保健室の先生)

質問2 質問1で選んだ人にお話をしたいのはどうしてでしょうか。(複数回答可)

- | | |
|----------------|-----|
| ・よくお話を聞いてくれるから | 21人 |
| ・やさしいから | 19人 |
| ・なかよしだから | 7人 |
| ・よく話しかけてくれるから | 6人 |
| ・その他 | 4人 |

(家族だから、ほっとする、大切にしてくれるから、頼りになるから、好きだから)

質問3 質問1で選んだ人に自分のお話を聴いてもらうと、どんな気持ちになりますか。(複数回答可)

- | | |
|---------|-----|
| ・ほっとする | 14人 |
| ・すっきりする | 14人 |
| ・元気がでる | 14人 |
| ・うれしくなる | 12人 |
| ・自信がもてる | 11人 |
| ・その他 | 3人 |

(その人がやさしいと思う、ふつう)